

令和7年度 盛岡北高等学校教職員 働き方改革アクションプラン

～ワーク・ライフ・バランスの向上によるウェルビーイングの確保～

本校では、「岩手県教職員働き方改革プラン(2024～2026)」に基づき、以下の取組により、「学校における働き方改革」を推進します。

1 現 状

【定量的現状】

- ◆ 「岩手県教職員働き方改革プラン(2024～2026)」目標達成状況
時間外在校等時間が月80時間以上の者
・R6年度:0人(参考:R4年度:0人、R5年度:0人)
- ◆ 年次休暇の取得状況について(年間一人当たりの平均取得日数)
・R6年度:12.7日(参考:R4年度:13.0日、R5年度:15.5日)

【定性的現状】

- 教職員の意識
・「チーム盛北」としてコミュニケーションを軸とした意識改革が進み、協力的な業務遂行が進めているが、自分自身の自由な時間を確保できている教職員が少ない。
- 管理職のマネジメント
・ICT機器を活用した業務の効率化や見える化を進めている。



2 目標・目指す姿

県の働き方改革プランの目標を前提に、以下の目標を設定します。

【学校独自の目標】

- ・ 毎週水曜日を学校全体の定時退庁推奨日とし、教職員一人あたり月2回以上の定時退庁を目指します。
- ・ 年次休暇の平均取得日数を15日以上(1日単位での取得を推奨)、夏季休暇5日間取得100%を目指します。

【目指す姿】

- ・ 教職員が保護者・生徒・地域とのコミュニケーションを大切に、組織的に業務に取り組んでいる。
- ・ 教職員一人一人が、業務にやりがいを感じている。
- ・ 教職員が、家庭のための時間や自由時間を確保できている。

3 (2を達成していくための) 具体的取組内容

(1)	教職員の健康管理	<ul style="list-style-type: none">・ 管理職が、年次休暇等を取得しやすい環境づくりに努め、柔軟な働き方を推奨します。・ 管理職が、長時間勤務者に声掛けし、必要に応じて産業医の保健指導やメンタルヘルス相談の利用を勧めます。
(2)	学校における業務改善の推進	<ul style="list-style-type: none">・ 事務的な業務について、本来業務に時間が割けるよう業務整理や簡便化を進めます。・ 保管データの整理・整頓を進め、業務の効率化を図ります。
(3)	業務の明確化・適正化の推進	<ul style="list-style-type: none">・ 行事や会議、模擬試験等の運営を見直し、教員が担う業務の整理を進めます。・ 休日の部活動については、顧問間で協力体制をつくり、従事時間の縮減に努めます。
令和7年度 重点取組事項		<ul style="list-style-type: none">・ 令和7年度から新たに教職員が自分自身の働き方改革の目標の設定に取り組みます。

4 アクションプランの周知方法

- ・ 本校のプランを学校のHPに掲載し、会議等を通じて教職員にも周知します。
- ・ 地域・保護者が参加する会議等を通じて、プランの内容の説明を行います。